

## 施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 (ネオレストEX-D(CES9901D)用)

### 1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)  
特殊コードラベルの品番は、[特殊コードラベル一覧](#)をご確認ください。

### 2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タ イ プ 1 )	(タ イ プ 2 )	正 規 品	(タ イ プ 1 )	(タ イ プ 2 )
(タ イ プ 3 )	(タ イ プ 4 )	(タ イ プ 5 )	(タ イ プ 3 )	(タ イ プ 4 )	(タ イ プ 5 )

3. 連立トイレ対応方法

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)  
 <<本体側の設定方法>> ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

リモコン特殊コード切り替え方法(ウォッシュレット本体側)

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

**1** 本体操作部の **運転入/切** を10秒以上押し続ける

⇒10秒後に全てのランプが**2秒間**点灯します。

**本体表示部**

**全点灯2秒間**  
 運転・タイマー・節電・便座・脱臭→緑点灯  
 水圧→赤点灯      センサー→青点灯

※下図は例です

ランプが点滅したら最初からやり直してください。

**本体操作部**

**2** **運転入/切** を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、  
 すぐに **ビデ入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

**運転入/切** を押したまま、 **おしり入/切** を押す。

**おしり入/切** を押す度に標準→特1→特2…特5→標準

と設定が切り替わります。

**本体操作部**

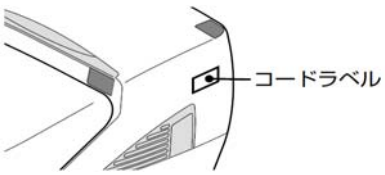
**本体表示部**

●…緑点灯    ×…消灯

表示部 \ コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5
便座	●	●	●	●	×	×
タイマー節電	●	●	×	×	●	●
運転	●	×	●	×	●	×

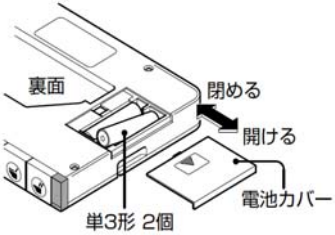
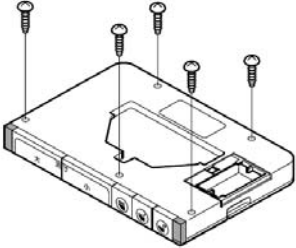
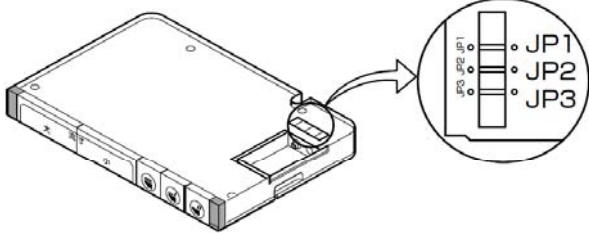
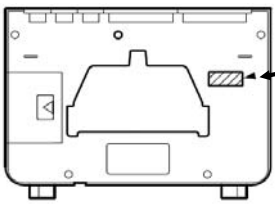
**3**

注意!!: 特コードを設定する場合は、特5までしか利用できませんので、特1～特5で設定を行ってください。

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)	
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           ※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。         </div>	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;">             運転  <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">入/切</span> </div> <div>             から手を離れた時点で設定したコードになる。           </div> </div>
5		ウォシュレット本体の側面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

## &lt;&lt;リモコン側の設定方法&gt;&gt;

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																												
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。          ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。          ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。          (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p><b>ご注意!!</b>          電池を必ず抜いて作業を行ってください。          電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																												
2	 <p>リモコン裏面のねじ5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																												
3	 <p><b>ご注意!!</b>          ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。          ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>◎:つながったまま ×:切断</p> <table border="1" data-bbox="256 1193 836 1368"> <thead> <tr> <th>コード ジャンパ線</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上的の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特5へ切り替える。</p>	コード ジャンパ線	標準	特1	特2	特3	特4	特5	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×
コード ジャンパ線	標準	特1	特2	特3	特4	特5																							
JP1	◎	×	◎	×	◎	×																							
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎																							
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×																							
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。          ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンはリモコンハンガーに取り付けてください。          ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																												
5	 <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。          ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																												

※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。  
 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)